

新宮山彦ぐるーぶ第1975回

## 持経宿にて熊野修験奥駈行一行(20名)の湯茶等接待と 前鬼・小仲坊裏の倒伐材の整理・薪作り

◇実施日：2018年5月27日(日) 晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男、橋本 梓  
上村洋司、大江加予子・徳子、畑清子、梶野照雄。  
山川治雄、大島欣子、山上皓一郎・昌子。(以上・小  
仲坊で合流)。  
計14名。

熊野修験奥駈行(玉置神社・前鬼・小仲坊)一行が、持経宿・不動堂で勤行後に湯茶等接待が恒例になっていますが、今回持経宿で昼食弁当を配布する事になった。

新宮出発前に「おむすび一郎」で注文された弁当(35個)を受取り、沖崎車(橋本・大江加・大江徳、畑林)、上村車(川島・生熊)、梶野車(児嶋)の3台で新宮5時半に出発。

池原スポーツ公園駐車場に6時半に到着し、熊野修験奥駈行本隊に合流される2名の行者(高木智英・菅原 洋)を同乗して池郷林道へ。

ゲートから上部の林道は、奈良森林管理事務所が連休後に業者に委託して路面整備を実施した旨の連絡を受けていただけに路面が良くなっている事を期待する。非常に悪かった路面が整備された大きな落石も除去され、普通乗用車の上村車は多少車底を擦ったが、略無難に走行出来て約1時間の7時半に持経宿に到着した。

荷を降ろして小屋を覗くと沖繩那覇市の単独女性が、出発準備をされている。

同乗の2名の行者は、迎え方々本隊と合流出来る地点迄平治宿方向へ行かれるので、千年檜祠前に幟立てを依頼する。

不動堂内掃除と幟立をする。小屋内の水のポリタンは全て空

(20L:3+10L:2個)であり、上村車で川島・梶野が水場へ。水場前の林道の落石も除去されていた。梶野氏が水場のホース取り入れ口の落葉除去により、一層勢いよくホース口から水が流れる。



池原で行者と合流

行者2名は本隊出迎えへ 水場で水汲み

沖崎氏の配慮で新宮から持参の水で、女性陣は紅茶用8L、お茶用6Lのヤカンでお湯を沸かされる。

各弁当に行動食の南海堂のパンと切り込みを入れた甘夏柑(川島提供)を当ぐるーぶから差し入れする。児嶋コーヒー喫茶も準備をされる。

水場から戻った梶野・上村氏と橋本氏の3名は、平治宿に碑伝入れ箱設置と志納金回収に8時過ぎに持経宿を発たれる。



8:25 熊野修験と出会う

平治宿・碑伝箱

平治宿作業班

準備を略整えてしばらくすると、例年より早く千年檜で勤行の法螺の音が響いてくる。

熊野修験(高木亮英師)から差し入れの氷で冷やしたクーラー等の清涼飲料水及び西瓜を切り分けてモロ蓋盆に入れて、持経宿前のベンチ台に並べて湯茶接待等の準備が整う。



西瓜を切り準備整う



熊野修験一行・不動堂で勤行



西瓜・紅茶・コーヒー等の接待で小休止



小仲坊へ一行出発!



8時50分に熊野修験一行20名(行仙宿で3名リタイヤ、持経宿で2名参加、今回女性修験者の参加無し)が到着し、不動堂で勤行後に西瓜・紅茶。コーヒー・清涼飲料水の接待で小休止して頂き、各自に弁当を分配し英気を得て9時10分に小

仲坊へと輿駈行一行が出立ちされる。「気をつけて!」「満行されますように!」と見送る。

那覇の女性は、今日は行仙宿泊とのことで、滅多に遭遇しない行者一行をつぶさに見学し、余った弁当を貰って行仙宿へ。後片付け後、トイレロール紙の補充と使用済ロール紙の焼却。児嶋氏はLED電灯の取替え、雨水槽の風呂蓋取替え・薪割り等で平治宿巡回班の戻りを待つ。



薪割り



平治宿班を待つ



持経宿から下山前

10時15頃に平治宿班が戻り、前鬼・小仲坊へ10時半前に向う。

小仲坊に12時前に着くと、駐車場は熊野修験参加者の回送車で一杯であり、いつも駐車する宿舎所下の駐車場には、雑木丸太が山盛りに置かれている。五鬼助さんに挨拶すると、先刻薪にする雑木を2屯トラックで運んで貰ったとのこと。

宿泊所には行仙宿で夕食・朝食の接待を終えて来られた方達等6人程昼寝されている。

宿泊所前で高木亮英師の計らいで熊野修験一行と同じ弁当で昼食をとっていると、山川車に初参加の大島さんが同乗して、作業応援に来て下さり一緒に昼食。

昼食後、五鬼助さんに駐車場の雑木を約40cmの薪に小切る

事の了承を得て戻ると、山上皓一郎・昌子夫妻は。熊野修験一行が小仲坊に到着された時に「ぜんざい」接待で出迎えるため、小仲坊に來られ合流した。



運ばれた雑木丸太

山川・大島さん小仲坊で合流し一緒に昼食

12時15分頃から当てるーぷチェンソー2台、山川氏、五鬼助さんの大チェンソーの計4台で雑木を小切る。他の方は宿泊所の壁際に薪を積み込み約40分で薪作りが終了する。



雑木丸太をチェンソーで薪に小切り薪積み込み

13時前からチェンソー4台で、小仲坊裏の倒伐放置材の杉大木の枝切りや大木を小切る薪作りなどの作業を12名で行う。



大木杉倒伐材の切除と薪を積み込み



チェンソー刃挟まる



コーヒー等で小休止



小休止後の大木倒伐材の小切りと整理・積み込み

チェーンソー刃が締まり取り出せず、他のチェーンソーで重みから  
ない所で切除し事無きを得る。大人数なので作業が捗る。  
14時前に、持経宿で余ったお茶・紅茶、山川氏差し入れの  
コーヒーで小休止。燃料切れとなった14時40分過ぎに作業  
を終了し宿舎前で五鬼助さん「おもてなし」冷たい缶ビールと  
清涼飲料水で作業打上げとなり記念撮影。



山上さん合流



本日の作業参加者

熊野修験一行が下山されるまで待機される山上夫妻や行仙宿  
で宿泊接待された方及びに五鬼助さん夫妻に見送られ、15時  
半前に小仲坊から各車帰路へ。

### 行動タイム

新宮5:30→6:30池原スポーツ公園駐車場6:35→7:30持経宿。  
(平治宿班8:05→8:55平治宿9:20→10:15持経宿)。  
持経宿10:25→11:50前鬼・小仲坊(昼食)12:15→雑木薪作り  
12:50→13:00小仲坊裏・倒伐材の作業14:45→小仲坊15:25→  
16:55新宮。  
(記:川島、写真:川島・梶野)